

コミュニティ支援のご報告



**LIGUNA 様のポイント募金によるご支援のおかげで、
繰り返す地震によって心身ともに疲弊していた方々に
寄り添う支援に取り組むことができました
心より感謝申し上げます**

この度は、宮城県山元町におけるコミュニティ支援活動にご寄付を賜り、心より感謝いたします。ご支援のおかげでオレンジハウスの修繕、足湯の活動が実施できました。感謝の気持ちを込めて、貴社より頂戴しましたご寄付の活用につきまして、写真と共にご報告いたします。

1. オレンジハウス修繕

(1) 概要

弊団体は、2011年の東日本大震災発生直後より宮城県山元町で被災された住民の方や、支援活動にあたる方々に寄り添う支援活動に取り組んでまいりました。山元町では沿岸部のすべての地区が津波による大きな被害を受け、花釜区では住民が集う集会所も流失し、災害という大きな困難を乗り越えるのに必要な、地域のつながりの拠点が失われてしまいました。

「みんなで集まれる場所がほしい」という住民の声を受け、弊団体は、東日本大震災被災者支援の一環として世界のADRAネットワークから寄せられた資金をもとに、2013年12月にトレーラーハウスを設置しました。震災から約2年、人々が集まりにくくなっていましたが、このトレーラーハウスは、「オレンジハウス」の愛称で親しまれ、地域の女性たちによる手芸活動や地区の班長会議など幅広い活動に使われる場所となりました。

同ハウスは2015年4月に、震災後に立ち上がった地元の女性グループ「山元タイム」へ譲渡しましたが、それまでの約1年2か月の間に延べ1,800人が利用し、その後も活発に利用されてきました。設置からすでに9年経ち、建物の経年劣化も見られるようになっていましたが、山本タイムの方々や住民が自力で修理をしながらコロナ禍の現在でも毎日開放しており、多くの地域住民が集う場となっています。

しかし、2021年2月に発生した福島県沖を震源とする地震や、2022年3月に発生した地震で起きた木製スロープやデッキの土台のずれ、屋根の損傷などは大掛かりな修繕が必要で、地域の方々だけでは対応が難しい状況にありました。2021年2月の地震による被害については、昨年度、貴社のお客様の方々によるご寄付で修繕することができましたが、今年3月に再び起きた地震による被害への対応は、まだできていない状態でした。



修理前の様子（2022年5月撮影）

(2) 活動内容

2022年3月の地震で損傷していたオレンジハウスの屋根の修繕を行いました。

山元タイムと住民の皆さんは、これまでもオレンジハウスを自分たちの手で、丁寧にしっかりと維持管理してきて下さいました。しかし、これまでの経年劣化と2022年3月16日に発生した福島県沖の地震の影響により、トレーラーハウス屋根内部のベニヤ板がずれたため、雨漏りするようになってしまいました。雨漏りは室内に直接入るものではなく、屋外に水が染み出る状態でしたが、今後トレーラーハウスの傷みに繋がることも懸念されました。また、建物に破損があることにより、利用するにも不安があり、集まりにも人を呼びにくい状況になっていました。

オレンジハウスは地域住民の重要な集いの場となっていること、しかし、今回の被害規模は地元の方たちが自分たちでできる範囲を超えるものであることから、外部からのサポートが必要であると判断できました。そこで、ADRAが貴社のお客様の方々とお繋ぎすることで、まとまった金額が必要となる今回の屋根修理を行わせて頂くことにいたしました。

修繕後の現在、再び住民の方が安心して利用できるようになっていました。特にご高齢の方にとって徒歩でも来られる位置に集える場所があることは、心身の健康にも良い影響を与えているようです。

【修理前と修理中】



修理中の様子



修理後の様子

【修理後】


屋根がきれいに直り、不安がなくなったオレンジハウス

【活動の様子】


活動の様子

オレンジハウスでは、好きな手芸に没頭したりおしゃべりを楽しんだりできる



現在のオレンジハウス

(3) 住民からの声
・山元タイム代表山下さん

「オレンジハウスを利用して9年になります。1番心配していた屋根を直していただいて安心してお婆ちゃんたちに利用してもらうことができます。少しでも長く使えるように大切にしたいと思います。まだまだオレンジハウスを必要としている人たちがいます。その時々に合わせて利用の形を変えて長い活動にしていきたいと思います。ありがとうございました。心より感謝いたします。」

・利用者の方々からの声

「先日はオレンジハウスの修繕工事をしていただき本当にありがとうございました。お陰様で浜特有の強風や雨でも安心して集まっております。被災地に住民者として、今でもお気持ちを寄せてくださり、支援していただけること感謝申し上げます。ありがとうございます。」

2. 足湯

(1) 概要

ADRA Japan は、災害被災者支援活動の一環として足湯を取り入れています。足湯を実施することにより、被災によって疲弊している心身のリラックスを促すほか、困っていることを言葉にしやすい環境をつくることができます。足湯で聴ける声を「つぶやき」と呼んでおり、「つぶやき」から住民の方々が抱える個々の悩みや想い、気持ちが垣間見れます。困りごとの内容によっては、必要な支援に繋ぐこともできます。また、足湯は全体の血行を良くする健康法でもあり、足湯を行った住民の方からは頻繁に「夜よく眠れたよ」という感想をいただくことができる活動です。

東日本大震災後は、山元町に長期に渡って足湯ボランティアを派遣し、足湯を開催してきました。2011年8月から2015年12月までに延べ2,500人程の住民の方の足を温め、その後も地域の方との相談のもと、状況に応じて足湯を開催しています。

山元町では2022年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により被害がありました。しばらくは災害ボランティアによる片付け等の対応がありましたが、災害ボランティアセンターが活動を終えた後でも、アフターフォローを必要としている方は少なくありません。困りごとがあっても、誰かに相談するきっかけがないという状況で、住民の方々が気持ちを吐き出せる場づくりが必要とされていました。またそのような活動を担える地元の団体の育成も求められていました。



足湯開催の様子

(2) 活動

4月、5月、8月の3回、山元町で足湯を行いました。この足湯の開催にあたっては、地元で足湯ができる人材の育成を目指して、東北大学 課外・ボランティア活動支援センターSCRUMの学生さんに足湯講習会を開催し、現地でボランティアとして参加していただきました。足湯は、3月16日の地震で被災された方に限らず、地域の方を対象に実施しました。

計11回開催した足湯には、地震被害への対応がまだ済んでいなかった方、また地震がくるのではないかという不安を抱えていらっしゃる方、コロナ禍以来、住民同士で集まる機会を待ち望んでいた方など、計87人がお越しになりました。足湯でリラックスしていただき、お話を伺うだけでなく、地域の方同士が集まってお話をしている情報交換の場にもなりました。

また、足湯ボランティアに参加した地元の学生さんからは「また参加したい。」という声が聞かれ、地域の災害に対応する力が育つ機会にもなりました。

<実施日と住民の方の参加数>

日時	実施場所	参加人数
4月18日	新山下地区	10人
5月9日	笠野地区	7人
5月9日	桜塚地区	8人
5月10日	浅生原地区	9人
5月10日	下郷地区	14人
5月11日	横山地区	6人
5月11日	中山地区	2人
8月22日	笠野地区	7人
8月23日	浅生原地区	7人
8月24日	横山地区	9人
8月25日	桜塚地区	8人
	合計	87人



足を温めながら手をさすり、お話を伺う。



帰り際に差し入れをいただく場面も

(3) 足湯できかけた声 (つぶやき)

「このエリアに 100 年以上、代々住んでいる。家は 100 才超えた。私で 5 代目、孫までいるから、全 7 世代。この前 (3 月) の地震で家が全壊した。でも、今日保険おりた。もう大変だった。」
(70 代女性)

「みんなと集まってカラオケしたり、おしゃべりやグランドゴルフしたりするのが楽しい。でもコロナで出来なくてつらかった。ようやく始められてよかった。」
(80 代男性)

「家がメチャクチャでタイルもはがれてお風呂も入れない。足湯が来るのを楽しみにしていた。ペースメーカーが入っている。大腿骨が折れて長く入院していた。(10 か月) 動けなくて大変だった。地震の時にタンスが倒れてきて肩を打った。ヒザも震災の時にもぎとれそうになった。普段は家事をしながら、散歩したり、ボケ防止のジグザグ漢字をやっている。足湯が来るのをカレンダー、時計を見ながら指折り待ってました。」
(85 才女性)



(4) 支出

項目	詳細	費用 (円)		
		合計 (a+b)	自己資金 分(a)	ご支援充当 分(b)
オレンジハウス屋根修理				
旅費交通費	交通費	33,000	0	33,000
資材費	屋根材、下地材、シール材	35,200	0	35,200
人件費	業者人件費	165,000	0	165,000
	合計金額	233,200	0	233,200
足湯				
消耗品費	アルコールスプレー、お茶、お水、使い捨て手袋	2,713	272	2,441
旅費交通費	高速代、ガソリン代、宿泊費、抗原検査キット	584,734	357,895	226,839
資材費	やかん、被災者へ配布用物資、かき氷備品	52,811	0	52,811
賃借料	会場使用料	2,100	0	2,100
人件費	スタッフ人件費（山元町での活動分）	173,800	31,430	142,370
	合計金額	816,158	389,597	426,561
総計		1,049,358	389,597	659,761
LIGUNA 様ご支援充当分				659,761

貴社のお力添えにより、山元町の方々をつなぐコミュニティ支援の一助になることができました。心温まるご支援をいただき心から感謝いたします。今後もアドラは皆さまとともに、人々に寄り添った支援活動を継続していきます。



ありがとうございました！